

Q1. 筆頭著者が非会員でもよいのでしょうか？

A1. 複数での執筆の場合、一人が会員であれば投稿できます。筆頭著者が会員である必要はありません。  
(20200604)

Q2. 取組の当事者としての投稿が望ましいのでしょうか？（例えば、連携の事例について調べた報告（著者が当事者でない）ものでも投稿の対象になりますでしょうか？）

A2. 基本的に社会連携の「最前線」で現場からのお声を反映させていただきたいと考えております。社会連携に関わる方々から会員全体に情報提供いただき、共有する場と考えています。(20200604)

Q3. 投稿すれば大きな問題がない限り採用されるのでしょうか？

A3. 原則としては投稿を広く受け入れる方針としており、現時点では形式審査のみとしています。ただし、投稿要領の連載の主旨とは異なる投稿であるなどの場合には、掲載を見送ることもあるとお考えください。例えば事例を調べた報告などは、論文集の事例調査や技術報告集の論説などの方が適切かと思えます。この場合は、他の投稿をお薦めして、本連載に掲載しないとの委員会の判断もあります。(20200604)

Q4. 筆頭著者の投稿件数には目安や規定はあるのでしょうか？

A4. 特定の会員が多数投稿して他の会員の投稿機会を減らす複数投稿や連続投稿は、掲載を先送りにする場合があります。(20200604)

Q5. 刷り上がりの頁数は原稿のボリュームによっては4ページなどが認められる場合もあるのでしょうか？

A5. 要領に記載のとおり原則2ページ完結で運用しています。4ページが認められる場合もあるかもしれませんが、これについても「会員の投稿機会の均等」を前提とします。学会誌のページ数や他の会員からの本連載への投稿の有無なども影響します。(20200604)

Q6. 応募のタイミングは採否や掲載号の順番等にも影響するのでしょうか？

A6. 応募順と採否は関係ませんが、学会誌のページ数による掲載可能本数で、別号への先送りなど順番には影響する場合があります。また、内容により早い号の掲載が妥当と判断されるなど、掲載号の調整をお願いすることもあると考えます。(20200604)

Q7. すでに掲載された記事のPDFを見せていただけませんか？

A7. 社会連携委員会では本誌データを所有していないため、お手元の学会誌をご覧ください。(20200704)